

第75回 氷都新時代!
八戸国体
第2日



【スピードスケート成年女子1500㊦予選2組】2分0秒14の好タイムで決勝へ進んだ澤尻陸里菜(八戸学院大)。「YSアリーナ八戸」

までが準決勝へ
「1組」①羽賀(長野・日本電産サンキョー) 35秒69・大倉新の森本(三重県体協)
「2組」①森重(山形・専大) 39秒07②川(北海道・専大) ③組①松井(埼玉・大東大) 37秒59②宇賀神(栃木・大東大)

好タイムで船出順調
○：成年女子1500㊦に出場した澤尻(八戸学院大)は2分0秒14の好タイムで決勝へ進出。目標の表彰台に向け順調なスタートを切った。「(数人の選手が)一斉に滑る」シングルトラックは何が起きるか分からない競技。まずは予選を通過できて良かった。レース後、ほっとした表情で振り返った。翌日には3000㊦予選。翌々日には1500㊦決勝。2000㊦予選と予選とレースが続く。「全力で滑って一つでも多くの表彰台に上りたい」。大学4年間を過ごした八戸開催の国体で集大成を見せる。

準決勝の壁 またも
○：…またも準決勝の壁に阻まれた。成年女子500㊦準決勝で鬼頭(八戸学院大)が4大会連続で準決勝敗退。念願の決勝進出はならず「悔しい」とうなだれた。昨年同様スタートで遅れを取り、終盤で挽回を狙った。第2コーナーから行こうと思ったが、最後は行ききれなかった。それでも地元応援は大きくなった。出場種目は1000㊦2000㊦予選。悔しさをぶつけて、つかりといい形で終るように頑張りたいと話した。



【スピードスケート成年女子500㊦】

戸学院大)が4大会連続で準決勝敗退。念願の決勝進出はならず「悔しい」とうなだれた。昨年同様スタートで遅れを取り、終盤で挽回を狙った。第2コーナーから行こうと思ったが、最後は行ききれなかった。それでも地元応援は大きくなった。出場種目は1000㊦2000㊦予選。悔しさをぶつけて、つかりといい形で終るように頑張りたいと話した。